

大阪府立工芸高等学校
令和4年度 学校教育自己診断結果 分析

生徒 (学校へ行くのが楽しい)	肯定率	77.8%
保護者 (子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている)	肯定率	88.9%

保護者の肯定率が生徒を約10ポイントうわまわっている。これは生徒が思う以上に、家庭での生徒のふるまいから学校に行くのが楽しいと保護者が感じていると推測する。これからも生徒が登校することを楽しいと思える学校であることをめざしていきたい。

生徒 (授業は分かりやすく楽しい)	肯定率	82.98%
保護者 (子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている)	肯定率	79.6%

生徒・保護者とも約8割が授業を分かりやすいと評価している。これは教職員が各自で工夫し「わかる授業」「できる授業」を行った結果であると推察する。今後は令和5年1月に全HR教室に設置したプロジェクターを駆使し、効率のよい「わかる授業」「できる授業」のさらなる充実を図っていきたい。

生徒 (この学校には、他の学校にない特色がある)	肯定率	100.0%
保護者 (この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる)	肯定率	99.5%

生徒・保護者ともほとんどが専門教育に特色があると感じている。これは本校のデザイン・造形・芸術教育が高いレベルに達しており生徒が専門教育の内容に満足し、やりがいを感じている結果と推測する。今後もこの評価を継続していきたい。

(進路関連)

肯定率	生徒	92.6%	教職員	94.3%	保護者	91.8%
-----	----	-------	-----	-------	-----	-------

学校の進路指導に対しては生徒・保護者から9割を超える評価を得ており、教職員においても高い肯定率を示している。これは、教職員が長年培われたノウハウのもと、自信をもって生徒に指導している結果と推測する。今後もこの高い評価を継続していきたい。

(人権教育関連)

肯定率	生徒	90.7%	教職員	94.3%	保護者	88.7%
-----	----	-------	-----	-------	-----	-------

人権推進委員会、いじめ防止委員会の定期的な開催をはじめ、いじめアンケートの実施、いじめをなくすための取組などの本校の人権教育について、生徒・保護者とも高く評価していると考えられる。今後も人権教育の充実と教職員間の生徒の情報共有に努め、生徒が安全で安心できる学校であり続けたい。